

財務の概要

■事業活動収支計算書の概要

2017（平成 29）年度の法人全体の事業活動収入合計額は、1,839.5 百万円と予算を 84.0 百万円上回る結果となりました。要因は、ほぼすべての科目で収入額を上回ったためです。

学生生徒等納付金収入が予算比 9.1 百万円増加しました。これは、学生・生徒・園児数が 42 名増加したことが要因です。

手数料収入が 2.6 百万円増加しました。これは、大学志願者数が増加したためです。

寄付金は 2.7 百万円増加しました。これは、大学開学 50 年記念事業寄付を募ったためです。

補助金は 57.3 百万円増加しました。これは、経常費補助金が 38.2 百万円増加、改革総合支援事業の交付金収入 19.1 百万円増加が主な要因です。

付随事業収入は、公開講座等収入の変動で予算に対して 15.6 百万円減少しました。

雑収入が 17.0 百万円増加しました。これは私学教育振興財団からの交付金 1.2 百万円、私立大学等退職金財団からの交付金 31.7 百万円が増加し、その他の雑収入 15.8 百万円減が主な要因です。

教育活動外収入は、受取利息・配当金が 1.0 百万円増加、定期預金利息によるものです。

特別収入では、現物寄付 1.2 百万円、I T 教育設備整備推進事業費 5.4 百万円、理科教育設備等補助金 3.2 百万円が主な要因です。

一方、法人全体の事業活動支出の部合計は 2,052.4 百万円となりました。これは、予算と比較すると 313.8 百万円増加しています。ほぼすべての科目で支出額が予算を上回りました。

人件費は 28.5 百万円増加しました。これは、退職者の増加による退職金 29.1 百万円増加が主な要因です。

教育研究経費が 14.6 百万円増加しました。これは、中学校・高等学校体育館・大学本館などの修理に伴い消耗品の増加 3.3 百万円、修繕費は 21.1 百万円減少。奨学金は 4.9 百万円増加、オーストラリア留学、セブ島語学研修他に伴う報酬委託料増加 18.5 百万円、キャリア支援プログラム他に伴う委託費用の増加 4.2 百万円、啓明大学他現地に係る研修費の増加 4.6 百万円が主な要因です。

管理経費が 23.5 百万円増加しました。これは、大学、中高 TVCM 他に伴う広報費用 14.5 百万円増加、人文定員増加申請調査費用 3.0 百万円増加などの報酬委託手数料増加が主な要因です。

教育活動外支出では、借入金等利息 3.3 百万円、運用手数料 1.2 百万円の増加となっています。

結果、経営状態の指標となる、基本金組入前当年度収支差額は図書の除却 242.7 百万円があり、212.9 百万円の赤字となりますが、経常収支差額は予算に対し 3.0 百万円増となりました。

■資金収支計算書の概要

2017（平成 29）年度は、大学東館建替建築のため大きく資金が動いています。法人全体の翌年度繰越支払資金 1,812.5 百万円と前年度繰越支払資金 1,165.7 百万円と比較すると、新校舎建築に伴う資金として借入金等収入 1,000 百万円、施設関係支出 1,007.8 百万円、第 3 号基本金特定資産取崩収入 368.7 百万円、運用資金取崩 300.0 百万円もあって 646.8 百万円増加しています。

収入科目の内、資産売却収入では有価証券の繰上げ償還に伴い 502.3 百万円計上、その他の収入を 1,121.9 百万円計上しています。また、資金収入調整勘定のうちには次年度以降に資金が入金される期末未収入金 89.8 百万円含まれています。支出科目の内、資産運用支出として 549.4 百万円。施設関係支出 1,007.8 百万円計上、新校舎建設工事が主な要因です。

以 上